

ナチュラル素材でお部屋にもなじむ  
パネルスツール

難易度



材料



- マットペイントスプレー 300ml ブルーブロンズ 848円
- シリコンラッカースプレー 420ml つや消しとうめい 7
- ボンド木工用速乾 50g 128円
- PP締め付けベルト 25×1500mm 黒 425円
- 木ダボ 8×35mm(100入り) 680円
- 直秀 追い入のみ 12mm 2,650円
- 竹用ドリル 8mm 1,280円
- 竹用ドリル 12mm 1,500円
- ジグソー PST800PEL 14,200円
- サンダー、充電式インパクトドライバー、金づち、コンパス、ダボ切りのこ等

【構造用針葉樹合板 1820×910×12mm】・・・1枚

(A)450×370×12mm 1枚

(B)450×370×12mm 1枚

(C)350×350×12mm 1枚

作り方

STEP1

材料を切り抜く

構造用針葉樹合板の(A)、(B)に、図1・2を参照して墨付けをする。

脚の部分の丸みは、写真のようにマットペイントスプレーの缶を利用して描く。墨付けをしたらジグソーで切り抜く。

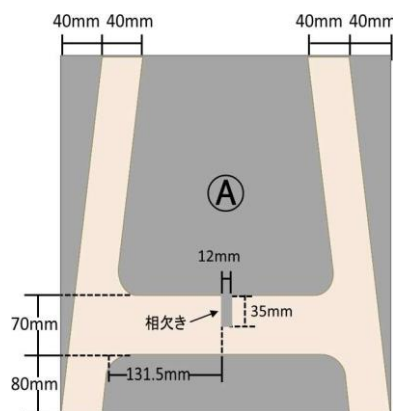


図1

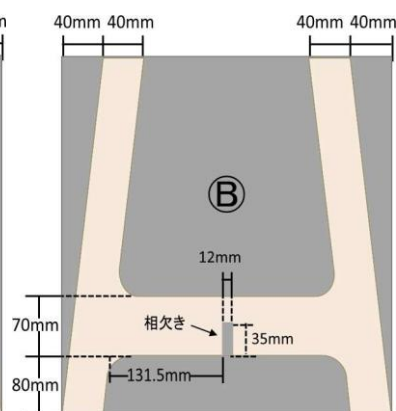


図2

STEP2 相欠き加工をする

(A)、(B)それぞれの脚の交差させる部分に、ジグソーで縦に切り込みを入れ、残りの部分をノミで落とす。  
相欠きの位置は図1・2を参照する。パネルの切り落とした部分すべてに、サンドペーパーなどで面取りをし整える。



STEP3 木ダボを取り付ける

図3を参照して、材料(A)・(B)に竹用ドリル8mmを使って、10mm程度の深さで穴をあける。  
穴をあける面に対して垂直に、また、板の厚みの真ん中に中心がくるように注意して。  
あけた穴に木工用接着剤を垂らし、金づちで木ダボを打ち込む。



図3

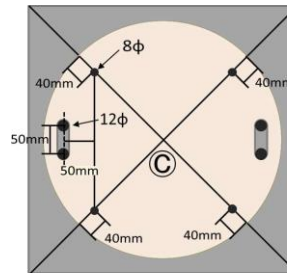


STEP4 座面を切り抜きダボ穴をあける

材料(C)の角から対角線を引き、交差したところを中心にコンパスで直径330mmの円を描き、ジグソーで円形に切り抜く。  
材料(A)・(B)を組み立てて座面に引いた直線上にあて、図4を参照して、ダボを差し込む穴の位置を調整をする。  
4か所の位置が決まったら、竹用ドリル8mmで穴をあける。



図4



**STEP5 ベルト通しの穴をあけ、ダボをカットする**

図4を参照して、対面上に竹用ドリル12mmで2つずつ穴をあける。  
2つの穴をつなぐようにジグソーで切り抜き、サンダーで整える。  
脚と座面を組み立て、座面から飛び出したダボをダボ切りのこでカットする。



**STEP6 塗装後、組み立てて完成**

脚はシリコンラッカースプレー(つや消しとうめい)で、側面を養生した座面はマットペイントスプレー(ブルーブロンズ)で塗り乾かす。塗装は屋外や換気の良いところで行うこと。

